

歴史書 通信

7

2019 No. 244

江戸城外堀とオリンピック [松本剣志郎]

歴史書新刊ニュース (5・6月)

歴史書以外の人文社会図書新刊案内 (5・6月)

2019年歴史書ベストフェア (出品/参加書店一覧)

歴史系学会・シンポジウム開催情報



歴史書懇話会

江戸城外堀とオリンピック

松本 剣志郎

(法政大学文学部専任講師)

私の研究室の窓からは、かつての江戸城の外堀がよくみえる（表紙写真）。現在は、牛込濠と呼ばれている堀で、春は土手の桜並木が美しく、多くの花見客でにぎわう。さぞかし夏には爽やかな風が水面を吹き渡り、水辺でんびとが憩い、都会のすばらしいオアシスになるだろうと思いきや、現実はほど遠い。水質は国内最悪レベルかと思われる、猛暑の続く日々には、ものすごい臭気を放つ。外堀の水に本来の「流れ」のないことが、根本的な原因である。

とはいえ、われわれも手をこまねいているわけではない。外堀周辺の大学と企業、そして地域住民が手をたずさえて「外濠再生」への行動を起こしはじめている。2016年には外濠再生懇談会が発足し、私も末席に連なっている。今年（2019年）3月のシンポジウムでは、外濠再生憲章を採択して、ひろく社会に訴えたところである。

* *

拙著（『江戸の都市化と公共空間』塙書房、2019年）では、外堀のみならず、城下町江戸の道や橋、水路などが維持管理される仕組みから、社会の都市化

を考えてみた。

都市化とは、都市的な生活様式や思考様式などの形成および展開のことである。城下町は身分制社会を体現する場でありながら、他方で都市として運営されねばならなかった。否応なく発生する都市の公共的課題に諸身分は如何に取り組み、そこにどのような新しい秩序が生み出されるのか。考えてみたかったのは、そのようなことである。

徳川に臣従した諸大名たちによって造られた外堀は、本来的に防禦機能を有し、泰平の世となつてからは権威の表象装置でもあった。その維持管理は当初、大名たちに課せられたが、その仕組みは長くは続かなかった。

外堀の一部を構成した赤坂溜池の場合、18世紀以降、周辺地域住民の排出する下水貯水池ともなったことから、維持管理に受益者負担原則を導入している。180ほどの武家と数十の町が浚渫などの費用を負担したのである。拠出金は公儀の普請方へ納入され、そのもとで業者が働いた。現代の公共事業の仕組みに近いといえようか。とはいえ、排水量に比例して負担額が変わる

のではなく、武家であれば知行高に応じて金額が設定された。身分序列を都市公共機能の維持管理へ有効に取り込んだ仕組みであったといえよう。

* *

道の場合、その維持管理は個々の地域住民にもとより任されていた。公儀は道奉行を設置して、これをゆるやかに統制していたに過ぎない。大きく武家地、寺社地、町地という身分別居住区からなる城下町において、その間を分断した接続するものとしての道や橋は、身分制支配とは異なる支配体制が布かれなければならなかった。そのひとつの現れが道奉行であった。

道奉行の支配は、往還を通じて都市住民たる諸身分に対して行使された。都市内交通を円滑ならしむために身分横断的な支配権力であった道奉行は、一方で町人に対する町奉行、寺社に対する寺社奉行のような身分制支配役職と競合する側面を有した。そのため18世紀後半に道奉行は廃止されてしまう。しかしながらその有していた権限の一部は普請奉行に引き継がれている。道や橋などの公共空間支配は、かたちを変えながらも城下町が都市である限り必要とされたのである。

* *

アスファルトで舗装されることのない道は、雨天でぬかるみ、また荷車などの通行によってたやすく凸凹となる。こうした道の不良は、道に面する家屋敷が「自力」で維持管理するのが前代

よりの慣習として引き継がれ、江戸にあっては制度となっていた。例えば旗本森山孝盛（1738～1815）の場合、近所に出入りの植木屋を雇い入れて、屋敷前の道普請を実施している。このときの道造りには、砂利のほか、焼け瓦やドブの土まで投入された（これが誉められた行為であるか否かは定かでない）。ここでの「自力」とは、対価を払って、労働力や資材を投入することにはかならない。

しかしながら、ほどなくしてこうした道普請に自力で対応できないものが続出しはじめる。それは中小旗本や御家人、あるいは零細な町などであった。道奉行あるいは普請奉行は道普請を促すものの、都市化社会の進展するなかで経済的に困窮しはじめたかれらにそれは容易でない。自分の家の前の道を自分で管理するという仕組みは、一見したところ平等公平にみえる。しかしながら内実の負担は不均衡で、都市化が進み、経済的格差が拡大しはじめると、「小家」や町には対応不可能となり、負担の不公平性が顕われてきたのである。

こうしたなかで小家と町からの期待を集めたのが、最寄りの「大家」すなわち大家であった。まず調整者としての公儀が採用したのは、大家を含んだ道造組合の組織化である。費用は表高に比例したから、大家が加われば他の小家ないし町の負担割合は大きく下がる。他方の大家にとっては負担の増

大であり、おいそれと受け容れられるものではない。さりとてすげなく断っては大家の沽券に関わる。ここにそれぞれに事情を抱えた三者によるせめぎ合いを認めることができる。

大家を説得する論理として、小家や公儀が頻りに用いたのが「一作限り」(＝一度だけ)の普請^{いっさくぎ}ということであった。これは大家の面子を保たせ、負担を受容させる有効な言葉として機能した。とはいえ、この言葉の効用は文字通り一度だけである。繰り返される「一作限り」に、大家はその欺瞞性を突くものの、都市機能のまさに破綻せんとする現実の前に、そして自ら生きる都市社会の関係のなかで、少なからざる負担を余儀なくされていく。

身分制下の都市住民たちは、それぞれに私的利害を有しながら、都市の公共的課題に向き合った。もとより公権力による強い介入はここにはない。そうしたところで繰り返される、住民たちによる身分を下地にした関係のとり方に注目したい。

* * *

冒頭に紹介した外堀は、2019年5月現在、行政によって浚渫が実施されている。外堀通りは、来たる2020年夏のオリンピックのマラソンコースになっている。この前の浚渫が1992年の地下鉄南北線建設時で、さらにその前が1964年のオリンピック開催時だというから、ほとんど30年に一度の浚渫である。オリンピックと地下鉄、

浚渫はいつも巨大プロジェクトの陰にあって、おまけでしかない。

添え物で、その場凌ぎの「一作限り」の浚渫では、外堀の根本的な改善は望めない。お世辞にも良いとは言えないこの現状から脱却し、外堀を真中に置いた「快適都市」を思考できないだろうか。そんなことを思いながら、今日も私は外堀を眺めている。

〈表紙写真〉牛込濠 (2019年4月筆者撮影)

新刊ニュース

5・6月の新刊 *発売予定のものもあります

考古学

概論・通史/日本/アジア/ヨーロッパ/アフリカ/アメリカ/その他

小林謙一 著

縄紋時代の実年代講座

A 5判 226頁 2,000円

同成社 [5月刊]

978-4-88621-815-5

炭素14年代測定法による具体的な研究事例を示しながら、最先端の縄紋実年代研究の理論を簡潔に解説する。縄紋文化研究に必携の一書。

小林謙一 編

土器のはじまり

(市民の考古学 16)

四六判 178頁 1,800円

同成社 [6月刊]

978-4-88621-825-4

土器はなぜ・いつ・どのように誕生したのか。土器出現期の社会のようすを多様な視点から紹介し、世界の土器文化のはじまりを探る。

奈良県立橿原考古学研究所編

飛鳥宮跡出土木簡

A 4判 106頁 3,600円

吉川弘文館 [5月刊]

978-4-642-09353-8

出土木簡は、宮の構造、政治等の解明に不可欠である。長年の調査で出土した木簡を集成。初公開の資料も収め、図版と釈文を掲げる。

須田勉・河野一也編

古代東国の国分寺瓦窯

(古代東国の考古学 5)

A 5判 300頁 6,500円

高志書院 [5月刊]

978-4-86215-194-0

本書では国分寺建立構想を立案した律令国家と、東国の中でも異なる様々な瓦に関わる遺構や遺物の実態を分析することで、在地社会の多様性を解明する。

中世瓦研究会編

中世瓦の考古学

B 5判 340頁 15,000円

高志書院 [5月刊]

978-4-86215-195-7

本書は東北から九州・沖縄におよぶ全国の中世瓦の文様や製作技法、瓦編年、窯の構造など考古学の膨大な情報を集成したものである。

日本史

概論・通史/史料/古代/中世/近世/近代/現代/地方史

吉浜 忍・林 博史・吉川由紀編

沖縄戦を知る事典

非体験世代が語り継ぐ

A 5判 222頁 2,400円

吉川弘文館 [5月刊]

978-4-642-08352-2

戦闘経過、「集団自決」の実態など、67項目を収録した読む事典。豊富な写真が体験者の証言や戦争遺跡・慰霊碑などの理解を高める。

小倉慈司著

事典 日本の年号

四六判 460頁 2,600円

吉川弘文館 [6月刊]

978-4-642-08353-9

大化から令和まで、248の年号を網羅。年号ごとに在位した天皇、改元理由、年号字の典拠や訓みを解説した、〈年号〉事典の決定版。

油井宏子著

くずし字辞典を引いて古文書を読む

A 5判 164頁 1,600円

東京堂出版 [4月刊]

978-4-490-21006-4

くずし字辞典を持っている人にも持っていない人にも、くずし字や古文書の勉強の仕方や面白さを伝授する画期的な1冊。

古田武彦著

邪馬一国の証明

(古田武彦・古代史コレクション)

四六判 328頁 3,500円

ミネルヴァ書房 [6月刊]

定説・公理に素朴な疑問を持ち、創見に満ちた史料を再検討した古田武彦。ここに新たな観点から検討を加える。

978-4-623-085866

渡邊大門著

山陰・山陽の戦国史

毛利・宇喜多氏の台頭と銀山の争奪

四六判 378頁 3,800円

ミネルヴァ書房 [5月刊]

西国大名たちが天下を左右した……その合戦はいかに展開し、人々の経済・文化はいかに発展したか。

978-4-623-084944

黒嶋敏編

戦国合戦〈大敗〉の歴史学

A 5判 296頁 2,500円

山川出版社 [5月刊]

戦国時代の合戦で〈大敗〉するも滅亡に直結しないケースは多い。本書では〈大敗〉の影響を、実証的な歴史学研究の方法によって確かめていく。

978-4-634-59115-8

窪田涼子著

中世在地社会の共有財と寺社

(中世史選書 26)

A 5判 352頁 8,000円

同成社 [6月刊]

村落の拠点である寺社に、信仰を通じて集まるさまざまな財を「在地財」とし、出挙や憑子として管理・運用する社会機能の実態を追究する。

978-4-88621-823-0

芹川真結子著

近世仏教の教説と教化

(日本仏教史研究叢書)

四六判 296頁 3,500円

法蔵館 [6月刊]

近世東本願寺教団の資料をもとに、江戸時代の教学論争の展開と、教説の流通の様相を検討して、近世宗教が持つ特質を解明する。

978-4-8318-6044-6

マイケル・ワート著

明治維新の敗者たち

小栗上野介をめぐる記憶と歴史

四六判 304頁 3,800円

みすず書房 [6月刊]

勝者が書いた歴史に敗者はどう抗うのか。幕閣罷免後斬首された小栗忠順の語られ方を膨大な史料から跡づけ、歴史の生成を描く労作。

978-4-622-08811-0

原田敬一編

近代日本の政治と地域

A 5判 326頁 10,000円

吉川弘文館 [6月刊]

政治史・都市史に関わる論考10編を収録。幕末政治、青年団、在日朝鮮人など様々なテーマを取り上げ、歴史像を史料に忠実に描く。

978-4-642-03885-0

原田敬一編

近代日本の軍隊と社会

A 5判 258頁 10,000円

吉川弘文館 [6月刊]

軍史研究の最新状況を反映させた8編の論考を収録。戊辰戦争、徴兵制などのテーマを取り上げ、〈軍隊〉や〈戦争〉を考察する。

978-4-642-03886-7

伊藤純郎著

特攻隊の〈故郷〉

霞ヶ浦・筑波山・北浦・鹿島灘 (歴史文化ライブラリー 485)

四六判 240頁 1,700円

吉川弘文館 [6月刊]

空への憧れから飛行兵の道を選んだ若者たちは、いかにして特攻隊員となったか。厳しい訓練と食事や外出などの生活から現風景を探る。

978-4-642-05885-8

安田 浩著

天皇の政治史

睦仁・嘉仁・裕仁の時代 (読みなおす日本史)

四六判 304頁 2,500円

吉川弘文館 [6月刊]

大日本国帝国憲法下の天皇制は、立憲君主として統治を総覧するとされたが天皇も政策に介入することがあった。天皇三代の実態に迫る。

978-4-642-07106-2

中村愿著

戦後日本と竹内好

四六判 240頁 2,500円

山川出版社 [5月刊]

ライフワークである魯迅の翻訳に打ち込んだ晩年の竹内に寄り添い、その最後を看取った著者による回想録。いま改めて竹内の思想的位置づけを試みる。

978-4-634-15145-1

保坂正康著

対談 戦争とこの国の150年

作家たちが考えた「明治から平成」日本のかたち

四六判 256頁 1,500円 山川出版社 [5月刊]

明治150年の年に、半藤一利・西村京太郎・浅田次郎・逢坂剛・池内紀の5人と著者が、この国の近現代史のさまざまな論点を語り合った豪華対談集。
978-4-634-15135-2

工藤雅樹著

蝦夷の古代史

(読みなおす日本史)

四六判 232頁 2,200円 吉川弘文館 [5月刊]

東北で独自の生業を営んだ蝦夷。朝廷への服属に至る過程を追い、蝦夷の起源とアイヌ語地名・マタギ言葉にも独自の見解を提示する。
978-4-642-07105-5

世界史

概論・通史/アジア/ヨーロッパ/アフリカ/アメリカ/オセアニア

南塚信吾編著

歴史的に考えるとはどういうことか

四六判 280頁 2,500円 ミネルヴァ書房 [6月刊]

横溢する「歴史」にどう向き合うべきか? 6人の歴史家による問題提起。

978-4-623-086351

谷川 稔編著

越境する歴史家たちへ

「近代社会史研究会」(1985-2018)からのオマージュ

A 5判 376頁 3,800円 ミネルヴァ書房 [6月刊]

270回を超える例会、500前後のテーマをめぐって繰り広げられた議論、「近社研」の軌跡を当事者の言葉でたどる貴重な記録。

978-4-623-085668

船山 徹著

六朝隋唐仏教展開史

A 5判 556頁 8,000円 法藏館 [6月刊]

中国仏教の基盤が整備された六朝隋唐期の仏教史をインド仏教との関わりから捉え、中国仏教の新展開とは何であったかを明らかにする。

978-4-8318-7724-6

坪井祐司著

ラッフルズ

海の東南アジア世界と「近代」(世界史リブレット 68)

A 5判変型 116頁予定 800円 山川出版社 [6月刊]

シンガポールの建設者ラッフルズ。自由な交易空間を作ろうと試みた彼がもたらした「近代」が、東南アジアの海の世界をどのように変えたのかを描く。
978-4-634-35068-7

登利谷正人著

近代アフガニスタンの国家形成と地域内政治

(世界歴史叢書)

四六判 336頁 4,800円 明石書店 [5月刊]

アフガニスタン「近代」国家成立に関する歴史認識はどのように構築されたのか。膨大な史料をもとに分析・論考する。

978-4-7503-4830-8

H. ボーデン著/佐藤昇訳

アレクサンドロス大王

(刀水歴史全書 97)

四六判 235頁 2,300円 刀水書房 [6月刊]

西アジアで発見された重要文書から、アレクサンドロスは「西洋的な人物」ではない事が明らかになってきた。今後の研究が楽しみな入門書。

978-4-88708-442-1

中野香織著

ロイヤルスタイル 英国王室ファッション史

四六判 240頁 2,200円 吉川弘文館 [6月刊]

装いや言動、恋愛や結婚は何を示し、人々はいかに受け止めたか。威光と親しみやすさを共存させてきた歴史や、気高い生き方を考える。

978-4-642-08355-3

黒崎周一著

ホメオパシーとヴィクトリア朝イギリスの医学

科学と非科学の境界

A 5判 340頁 5,500円 刀水書房 [6月刊]

19世紀イギリスのホメオパシー普及活動や真偽をめぐる論争を元に、「境界設定」を通じて科学的医学がどのように形成されようとしたのか探る。

978-4-88708-454-4

ニコラス・チェア／ドミニク・ウィリアムズ著
アウシュヴィッツの巻物 証言資料

A 5判 416頁 6,400円

みすず書房 [5月刊]

アウシュヴィッツでガス室関連の強制労働をしたユダヤ人「ゾンダーコマンド」。彼らの埋めた手記類が戦後発掘された。初の包括的考察。

978-4-622-08703-8

文化史

文化史一般／政治・外交・経済／思想・宗教／
 教育・科学／文学・美術・芸術／社会生活

上山春著
天皇制の深層

四六判 296頁 2,700円

法蔵館 [5月刊]

天皇制成立の鍵とされる「神祇革命」とは何か？深層文化を探る表題作はじめ、改元関連・記紀・律令制の論考も収録。新時代に必携！

978-4-8318-5708-8

律宗戒学院編
覚盛上人御忌記念 唐招提寺の伝統と戒律

A 5判 473頁 10,000円

法蔵館 [5月刊]

唐招提寺中興の祖・覚盛上人の770年御忌を記念して、唐招提寺の教義・歴史や覚盛上人にまつわる事績・事象を多角的に解明する。

978-4-8318-6241-9

菅原征子著
近世の女性と仏教

A 5判 320頁 10,000円

吉川弘文館 [6月刊]

男女差別があった近世社会で、尼僧など信仰で社会参加や自己実現を果たした女性に着目。ジェンダーイコールな仏教の再生をめざす。

978-4-642-03495-1

呉永篤著
朝鮮学校の教育史

脱植民地化への闘争と創造

A5判 408頁 4,800円

明石書店 [5月刊]

朝鮮学校の歴史を日本の同化政策との関わりと祖国から離れた在日朝鮮人の民族教育の創造という2つの脱植民地化の視点から捉える。

978-4-7503-4816-2

小峯和明著
予言文学の語る中世

聖徳太子未来記と野馬台詩

A 5判 352頁 4,800円

吉川弘文館 [5月刊]

古代から続く予言書は、太子信仰の展開とともに国家の命運を占うものとなった。時代ごとに姿を変えたる予言文学、未来記の真髄を語る。

978-4-642-02952-0

宮島新一著
伝統文化と日本の美術

A 5判 336頁 6,000円

青史出版 [6月刊]

現在の伝統文化教育への提言。天皇と神道、神道と絵画、神社建築、廃仏毀釈の実態、等を探る。日本美術史通史の足取りを明らかにする意欲作。

978-4-921145-67-5

吉村 怜著
仏像の着衣と僧衣の研究

東洋美術史論考

B 5判 390頁 18,000円

法蔵館 [5月刊]

徹底した作品観察と律蔵文献をはじめとする膨大な史料を駆使し、古代の仏像彫刻が纏っている衣の呼称や実態について明らかにする。

978-4-8318-6328-7

角田徳幸著
たたら製鉄の歴史

(歴史文化ライブラリー484)

四六判 256頁 1,800円

吉川弘文館 [5月刊]

生産地の移動や技術革新からその発展を探り、「海のたたら、山のたたら」の視点で多様性を解明。産業や暮らしを支えた実像に迫る。

978-4-642-05884-1

塚本 明著
鳥羽・志摩の海女

素潜り漁の歴史と現在

A 5判 230頁 2,200円

吉川弘文館 [6月刊]

原始から現代へと至る苦難と興隆の歴史を辿り、その豊かで力強い文化を紹介する。働くことの意味などを現代社会に問いかける。

978-4-642-08354-6

新井孝重著

中世日本を生きる

巡歴漂流の人びと

四六判 228頁 2,400円

吉川弘文館 [5月刊]

中世前期、耕地は不安定で農民も武士も土地に根を張れなかった。厳しい環境を人びとはいかに生き抜いたのか。中世社会史を読み解く。

978-4-642-08351-5

関沢まゆみ編

米と餅

(日本の食文化 2)

四六判 240頁 2,700円

吉川弘文館 [6月刊]

雑煮、おにぎり、すし、赤飯、ぼた餅、団子…。毎日の腹を満たすかて飯、ハレの日のごちそうなど、特別な力をもつ米の食に迫る。

978-4-642-06837-6

伝記

中村順昭著

橘諸兄

(人物叢書 295)

四六判 272頁 2,100円

吉川弘文館 [6月刊]

聖武天皇のもとで諸政策を主導した奈良時代の皇親政治家。いかにして実権を握ったのかを、最新の発掘成果にも触れつつ描く。

978-4-642-05288-7

服藤早苗著

藤原彰子

(人物叢書 294)

四六判 304頁 2,200円

吉川弘文館 [5月刊]

藤原道長の長女、一条天皇の中宮。二人の天皇の生母として政務を後見。その後も天皇家家長・摂関家尊長として政治力を発揮した生涯。

978-4-642-05287-0

村井祐樹著

六角定頼

武門の棟梁、天下を平定す (ミネルヴァ日本評伝選)

四六判 368頁 3,500円

ミネルヴァ書房 [5月刊]

足利将軍家の後盾となり、北近江浅井氏をも支配下に置いた六角定頼。最盛期には天下人ともいえる存在となったのはなぜか。

978-4-623-086399

小和田哲男著

明智光秀・秀満

とき八今あめが下しる五月哉 (ミネルヴァ日本評伝選)

四六判 296頁 2,500円

ミネルヴァ書房 [6月刊]

主君信長をなぜ討ったのか… 謎多き生涯、「本能寺」の真相。

978-4-623-086566

石原孝哉著

ヘンリー五世

万人に愛された王か、冷酷な侵略者か

四六判 320頁 3,800円

明石書店 [5月刊]

百年戦争の英雄として英国で人気の高いヘンリー五世のイメージは、シェイクスピアの戯曲が作り上げたのか。その影響を分析する。

978-4-7503-4825-4

雑誌**日本歴史**

日本歴史学会編集

6月号 (第853) = 5月刊

7月号 (第854) = 6月刊

日本史専門の月刊誌として、また最も親しみやすい歴史知識の普及誌として、研究者から一般社会人まで、幅広い各層が購読。

一年間直接購読料 8,300円 [税・送料込]

◆各種割引制度有

二年間前払い 16,000円 [税・送料込]

三年間前払い 23,500円 [税・送料込]

学生・院生 一年間 5,000円 [税・送料込]

A5判 6月号 = 130頁、7月号 = 130頁

6月号 = 741円、7月号 = 741円

吉川弘文館 [5・6月刊]

歴史書以外の 人文社会図書新刊案内

2019. 5・6

明石書店

- 黒い匣 密室の権力者たちが狂わせる世界の運命 元財相バルファキスが語る「ギリシャの春」鎖圧の深層
ヤニス・バルファキス／朴勝俊・松尾匡 訳……………A 5判 2,700円 5月
- 北朝鮮を知るための55章 【第2版】 エリア・スタディーズ 石坂浩一 編……………四六判 2,000円 5月
- 中国年鑑2019 一般社団法人中国研究所 編……………B 5判 18,000円 5月
- 金石範評論集 I 文学・言語論 金石範評論集(全2巻) 金石範 著……………四六判 3,600円 6月
- アイルランドを知るための70章 【第3版】 エリア・スタディーズ
山下理恵子・海老島均 編……………四六判 2,000円 6月
- ボスニア・ヘルツェゴヴィナを知るための60章 エリア・スタディーズ
柴宜弘・山崎信一 編……………四六判 2,000円 6月

法蔵館

- 新装版 真言密教の基本 三井英光著……………四六判 2,000円 5月

歴史書懇話会とは

〒113-0033 東京都文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内

1968年6月に歴史書を刊行する有志出版社7社で結成され、現在7社が加盟しています。結成以来50年、「すぐれた歴史書の普及とその販売を積極的に推進する。本会はその目的達成のため、会員相互の協力によって必要な研究ならびに事業を行う。」(会規約)の精神に基づき活動しています。

〈歴史書懇話会〉の主な事業

◆「歴史書通信」(隔月刊)最新の歴史書情報を提供しています!

会員各社の新刊・重版情報、誌上フェア、書店情報を掲載する出版情報誌。歴史関連のエッセイなども掲載し、歴史知識の普及をはかっています。ご購入を希望される方は最寄の書店を通して、事務局までお申込み下さい。

◆「歴史書ベストフェア」小規模書店にも本格派の歴史書を!

全国約90書店で会員社の歴史書40冊余を1年間展示販売しています。選択セットを加え、最大規模は120冊のセットとなります。出品リスト及び販売店一覧は「歴史書通信」5月号に掲載します。

◆「歴史リバイバル」復刊書フェアとしてご好評いただいています。

統一復刊・重版事業「歴史リバイバル」を実施しています。

一社では困難な専門書の復刊・重版を共同で行う活動です。読者から要望の多い名著や基本図書を復刊し、毎回100店近い書店・大学生協で店頭フェアを展開しています。

◆「ホームページ」&「メール通信」による情報発信

当会のホームページでは、新聞書評情報、歴史書の検索、書店フェアや各社の新刊案内、歴史書懇話会からメール通信を配信するメールアドレス登録の受付、「歴史書通信」PDF版などを掲載しています。

メール配信のお申込みは<http://www.hozokan.co.jp/rekikon/>からお願いします。

歴史書懇話会 会員社

明石書店・同成社・塙書房・法蔵館・
ミネルヴァ書房・山川出版社・吉川弘文館

2019年「歴史書」ベストフェア

▶ 出品 / 参加書店一覧 ◀

歴史の深遠へと誘う水先案内人

明石書店

イタリアの歴史を知るための50章	高橋進・村上義和 編著	2,000円
スペインの歴史を知るための50章	立石博高・内村俊太 編著	2,000円
アメリカの歴史を知るための63章【第3版】	富田虎男・鶴月裕典・佐藤円 編著	2,000円
ロシアの歴史を知るための50章	下斗米伸夫 編著	2,000円
中国の歴史を知るための60章	並木頼壽・杉山文彦 編著	2,000円

東京堂出版

くずし字解読辞典（普及版）	見玉幸多編	2,200円
くずし字用例辞典（普及版）	見玉幸多編	5,800円
幕末維新史年表	大石 学編	3,000円

刀水書房

フランス革命「共和国」の誕生（刀水歴史全書96）	山崎耕一著	3,000円
スイスが問う日本の明日 近代の中に忘れてきたもの	花田吉隆著	2,200円

同成社

「関ヶ原」を読む 戦国武将の手紙	外岡慎一郎著	2,000円
改訂版 つらい真実 虚構の特攻隊神話	小沢郁郎著	1,700円
親子でまなぶ たのしい考古学	山岸良二：文 / さかいひろこ：絵	1,700円
改訂版 講談日本通史 素顔の日本を問いかたる	大濱徹也著	2,700円
入門 歴史時代の考古学	近江俊秀著	2,200円

埴書房

かぐや姫と浦島 物語文学の誕生と神仙ワールド	渡辺秀夫著	2,800円
平家の群像	安田元久著	900円
平家物語の虚構と真実 上	上横手雅敬著	900円
平家物語の虚構と真実 下	上横手雅敬著	900円
稲荷信仰	近藤喜博著	950円

※表示価格はすべて本体価格です。

法 藏 館

仏教史研究ハンドブック 仏教史学会編	2,800 円
近代仏教スタディーズ 大谷栄一・吉永進一・近藤俊太郎編	2,300 円

山川出版社

新もういちど読む 山川 日本史 五味文彦・鳥海靖編	1,600 円
新もういちど読む 山川 世界史 「世界の歴史」編集委員会編	1,600 円
文字と組織の世界史 新しい「比較文明史」のスケッチ 鈴木董著	2,000 円
山川 日本史小辞典 改訂新版 日本史広辞典編集委員会編	3,000 円
詳説世界史研究 木村靖二・岸本美緒・小松久男編	2,500 円
詳説日本史研究 佐藤信・五味文彦・高埜利彦・鳥海靖編	2,500 円

吉川弘文館

日本史を学ぶための古文書・古記録訓読法 日本史史料研究会監修／苅米一志著	1,700 円
はじめての古文書教室 林 英夫監修	2,400 円
戦国の城の一生 竹井英文著	1,700 円
刀剣と格付け 深井雅海著	1,800 円
龍馬暗殺 桐野作人著	1,800 円
近代日本の思想をさぐる 中野目 徹編	2,400 円

2019年歴史書ベストフェア 参加書店一覧

2019年4月1日

北海道

札幌市 文教堂札幌大通り駅店

秋田県

大館市 ブックスモア大館店

山形県

山形市 こまつ書店寿町本店

米沢市 こまつ書店堀川町店

福島県

会津若松市 西沢書店会津アピオ店

茨城県

水戸市 川又書店県庁店

群馬県

高崎市 戸田書店高崎店

館林市 聞声堂

前橋市 煥乎堂

栃木県

宇都宮市 喜久屋書店宇都宮店

足利市 岩下書店

埼玉県

さいたま市 板山明文堂

東京都

三鷹市 啓文堂書店三鷹店

世田谷区 文教堂経堂店

町田市 久美堂小田急店

神奈川県

茅ヶ崎市 長谷川書店
ネスバ茅ヶ崎店

横浜市 八重洲ブックセンター
京急百貨店上大岡店

富山県

高岡市 文苑堂書店福田本店

高岡市 喜久屋書店高岡店

富山市 文苑堂書店
富山豊田店

石川県

金沢市 金沢ビーンズ
明文堂書店

山梨県

甲府市 ジュンク堂書店
甲府店

長野県

東筑摩郡 興文堂 i C I T Y 店

松本市 興文堂平田店

諏訪市 誠林堂

安曇野市 平安堂あづみ野店

伊那市 平安堂伊那店

長野市 平安堂新長野店

飯田市 平安堂飯田店

岐阜県

岐阜市 カルコス本店

岐阜市 丸善岐阜店

瑞穂市 カルコス穂積店

大垣市 ACADEMIA 大垣店

中津川市 矢野書店

静岡県

浜松市 安間書店

愛知県

小牧市 カルコス小牧店

名古屋市 らくだ書店本店

名古屋市 ザ・リブレット

イオンタウン千種店

名古屋市 泰文堂日比野本店

三重県

津市 青山書店

滋賀県

高島市 玉垣芳文堂

彦根市 太田書店

京都府

木津川市 宮脇書店ガーデンモール
木津川店

京都市 葵書房下鴨店

相楽郡 A C A D E M I A
けいはんな店

大阪府

大阪市 喜久屋書店阿倍野店

大阪市 西坂書店

大阪市 ジュンク堂書店
天満橋店

兵庫県

加古川市 宮脇書店加古川店

加西市 西村書店加西店		島根県		愛媛県
姫路市 大塚書店	出雲市 今井書店出雲店		松山市 新丸三書店本店	
姫路市 黒田書店				
		岡山県		高知県
奈良県	高梁市 開進堂書店高梁店		高知市 金高堂朝倉 ブックセンター	
大和郡山市 喜久屋書店 大和郡山店	総社市 荒木書店			
		広島県		大分県
奈良市 豊住書店			大分市 ジュンク堂書店 大分店	
奈良市 たつみ書店 サントウン店	世羅郡 ブックセンターアオイ 甲山店			
奈良市 啓林堂書店奈良店		徳島県		宮崎県
			都城市 田中書店妻ヶ丘本店	
和歌山県	徳島市 井関書店		都城市 田中書店イオンモ ール都城駅前店	
橋本市 ツモリ西部店	徳島市 小山助学館本店			
田辺市 多屋孫書店	三好郡 小山助学館三加茂店			
		香川県		
鳥取県	高松市 宮脇書店本店			
米子市 杉島書店	坂出市 宮脇書店坂出白金店			

歴史系学会・シンポジウム開催情報

2019年度 大阪歴史学会 大会・総会

会期= 2019年6月30日 会場=関西大学 千里山キャンパス第1学舎1号館*

◆問合せ(事務局)学会HP問合せフォームより ◆HP = 詳細あり

全国歴史教育研究協議会 第60回研究大会(東京大会)

会期= 2019年7月24日~26日 会場=中野サンプラザ(13階コスモルーム等)

◆問合せ(全歴研事務局) zenrekientoyotama@yahoo.co.jp

◆申込方法=大会申込サイト <https://conv.toptour.co.jp/shop/evt/zenrekiken60>

2019年 歴史教育者協議会 第71回埼玉大会

会期= 2019年8月3日(全体会)~5日

会場=(8/3 全体会) 草加市文化会館ホール、(8/4・5 分科会) 獨協大学

◆問合せ(同会事務局) jimukyoku@rekkyo.org ◆HP = 詳細あり

古代出雲文化シンポジウム (仮)出雲と大和

会期= 2019年8月31日 会場=有楽町朝日ホール*

◆問合せ(事務局)HP をご確認ください ◆申込方法=ハガキまたはインターネットにて申込 ◆HP = 詳細あり

*印の会場では、歴史書懇話会による出張書籍販売がございます。

歴懇ニュース

- ◆日本列島はこの4月で平成に別れを告げ、翌5月、新たなる時代・令和を迎えました。おかげさまで私たち歴史書懇話会も無事50周年事業を終え、6月には次なる半世紀のスタートラインに立ちます。会の規約のとおり、「すぐれた歴史書の普及とその販売を積極的に推進する」べく、これからもさまざまな研究・事業に邁進していく、その想いを新たにいたしました。
- ◆歴史書懇話会は月代わりで「歴史書懇話会・今月のオススメ」の連続ミニフェアを開催しております。現在は次の5書店で開催しています（かっこ内はフェア開始の日付）。◇天童市 TENDO 八文字屋（2006年7月～）／◇新潟紀伊國屋書店新潟店（2007年8月～）◇松江市今井書店グループセンター店（2008年6月～）／◇大阪市喜久屋書店阿倍野店（2013年11月～）／◇出雲市今井書店出雲店（2014年7月～）。お近くの方、どうぞお寄りいただき私たちのオススメする旬な歴史書を覗いてみてください。
- ◆さて、春の学会シーズンが一段落しました。歴懇各社も、歴史学研究会、考古学協会など、さまざまな歴史系の学会会場でブースを設け、歴懇として、あるいは単独で販売させていただきました。◆例年、各種の学会で人の流れを眺めていますと、専門こそちがえど、なんとなくその年の傾向のようなものを感じることがあります。たとえば「今年は若い研究者が少ないなあ」とか、「今年は財布の紐が固いなあ」とか。2019年の傾向は、「今年はおつりに困らなかったなあ」…です。来年はポジティブな傾向を感じられるといいなあ…。◆学会の販売会場はまた、版元と読者の方々との数少ない直接の交流の場でもあります。「戦国期の〇〇大名の本を探しているのですが」「弥生土器関連の新作は？」。目的がはっきりしている方が多いので、こんなニーズがあったのかと気づかされることも多く、毎年のことながら、読者の生の声を聞くことの大切さを再確認いたします。こうしたさまざまな機会を活かして、今後も良書の刊行に努めたいと思います。
- ◆最後に、百舌鳥・古市古墳群が今夏、正式に世界文化遺産として登録されるそうです。関係者や地元の方々のご熱意あってこそその登録とありますが、テレビや紙上でお祭りのように持ち上げる様子には、すでに祭りの後を迎えた文化遺産たちの現状を見るにつけ、違和感も覚えます。◆世界遺産なるものが「登録」されるようになって半世紀。世界遺産とは、文化遺産とはなんなのか。歴史をいかにとらえ、どう伝えていくのかという問いと、まったく無関係ではありえません。歴史書に携わる版元として、今後、真摯に向き合わねばならない課題です。 (RK)

戦国合戦〈大敗〉の歴史学

黒嶋敏編 戦時代の合戦で「大敗」として、どのような事態が生じるのだろうか。
 〈大敗〉と滅亡、その因果関係は疑いもないように思えるが、滅亡に直結しないケースは多い。本書では〈大敗〉の影響を、実証的な歴史学研究の方法によって確かめていく。

A5判 296頁 本体2500円



徳川斉昭

— 不確実な時代に生きて —

永井博著 「頑固な攘夷論者」のイメージが強い斉昭の生涯をたどり、その思想を論点ごとに整理する。公家や大名とのネットワーク、正室登美宮吉子の果たした役割なども、新出史料を交えつつ詳細に描く。

四六判 240頁 本体2000円



対談 戦争とこの国の150年

— 作家たちが考えた

「明治から平成に日本のかたち

「令和」日本はどこへいこうとしているのか？
 ベストセラー「昭和の怪物 七つの謎」の著者 保阪正康が、日本を代表するストーリーテラー、エッセイストらと、この国の近現代史を縦横無尽に思索した豪華対談集。

四六判 256頁 本体1500円



保阪正康

西村京太郎
 池内紀
 逢坂剛
 浅田次郎
 半藤一利

著

戦後日本と竹内好

中村 愿 著

敗戦後の日本にあっても、ただ一人アジア主義者の立場から発言し、60年安保闘争の論壇でも一目置かれる存在であった竹内好の晩年に寄り添った著者による回想録。
 今あたためて竹内好の思想的位置付けを試みる。

四六判 240頁 本体2500円



日本史リブレット シリーズ完結

86 江戸時代の神社

高荻利彦 著

江戸幕府のもとで神社や神道、宮中祭祀がどのように存在していたのか。さらに明治期以降、強大化した神社と、戦後に改まった現在につながる神社の存在を、客観的に捉え直す。

A5変型判 116頁 本体800円

世界史リブレット人

92 スカルノ

— インドネシアの民族形成と国家建設

鈴木恒之著 インドネシア共和国独立の宣言者にして初代大統領スカルノ。民族統一・国家統合に捧げたその生涯をたどりながら、インドネシア現代史の歩みを描き出す。

A5変型判 116頁 本体800円

68 ラツフルズ

— 海の東南アジア世界と近代

坪井祐司著 自由主義の理想に燃え、自由な交易空間を作ろうと試みたラツフルズがもたらした「近代」が、東南アジアの海の世界をどのように変えたのかを描く。

A5変型判 112頁 本体800円



山川出版社

東京都千代田区内神田 1-13-13
 電話 03-3293-8131 <https://www.yamakawa.co.jp/>

【価格は税別】

「大化」から「令和」まで！ いつ、誰が、なぜ、どのように決めたのか？

小倉慈司著

2600円「内容案内」送呈

〈研究者・マスコミ・図書館必備〉
 古来、さまざまな理由で改元を繰り返し、今日まで続く日本の年号。大化から令和まで、二四八すべて年号を確かな史料に基づき分りやすく紹介。年号ごとに在位した天皇、改元理由などを明記し、年号の典拠やその調みを解説する。地震史・環境史などの成果も取り込んだ画期的〈年号〉事典。



橘諸兄 (人物叢書 25)

中村順昭著 2100円

奈良時代の政治家。藤原四兄弟が倒れると政權の中枢に立ち、聖武天皇のもとで諸政策を主導するが、藤原仲麻呂の台頭で失脚。五世王の諸兄が、いかに政治の実権を握ったのかを、最新発掘成果にも触れつつ描く。

鳥羽・志摩の海女

塚本 明著 2200円

国の重要無形民俗文化財「鳥羽・志摩の海女漁」の技術。原始から現代へと至る、苦難と興隆の歴史を辿り、その豊かで力強い文化を紹介。働くことの意味、伝統文化のありかたを現代社会に問いかける注目の一冊。

特攻隊の〈故郷〉

霞ヶ浦・筑波山・伊藤純郎著 1700円
 北浦・鹿島灘

空への憧れから飛行兵の道を選んだ若者たちは、なぜ、どのように、誰の命令で特攻隊員となったのか。厳しい訓練と、食事などの生活から特攻隊の原風景を探り、その歴史を問い直す。(歴史文化ライブラリー 45)

天皇の政治史

睦仁・嘉仁・裕仁の時代 安田 浩著 2500円
 (読みなおす日本史)

大日本国帝国憲法下の天皇制は、立憲君主として臣下の補弼により統治を総覧するとされたが、実際は天皇自身も政策に介入することがあり、内閣・軍部も天皇を利用した。史料を深く読み込み、実態に迫る。

飛鳥宮跡出土木簡

奈良県立橿原考古学研究所編

3600円

奈良県明日香村の飛鳥宮跡出土木簡は、宮の構造・年代および、政治・行政機構・税制等、飛鳥時代の解明に不可欠である。長年の調査で出土した木簡を集成。初公開資料。図版と釈文を掲げた古代史研究の基礎史料集。



ロイヤルスタイル 英国王室ファッション史

中野香織著 2200円

個性ある生き方とファッションで関心を惹きつける英国王室。装いや言動、恋愛や結婚は何を示し、人々はどう受け止めたのか。威光と親しみやすさを共存させてきた英王室の歴史、気高い生き方を考える。



米と餅

(日本の食文化 2)

関沢まゆみ編 2700円

米には靈力が宿るとされ、神祭りや人生儀礼で餅や団子、すし、赤飯にも加工し食される。日常では、野菜類と混炊したかて飯、携行食の握り飯など調理の工夫がある。さまざまな米の食と米の力を追究。(第4回)

近世の女性と仏教

菅原征子著 10000円

近代日本の政治と地域

近代日本の軍隊と社会

原田敏一編 各10000円

〒113-0033・東京都文京区本郷7-2-8 電話 03-3813-9151(代表)

吉川弘文館

2018-2019年版『出版図書目録』送呈
 FAX 03-3812-3544/価格は税別です

歴史書懇話会

▶会員社名簿◀

明石書店

101-0021 千代田区外神田 6-9-5 〈担当者：深谷直樹〉
TEL. 03-5818-1171 FAX. 03-5818-1174

同成社

102-0072 千代田区飯田橋 4-4-8 〈担当者：工藤龍平〉
TEL. 03-3239-1467 FAX. 03-3239-1466

塙書房

113-0033 文京区本郷 6-8-16 〈担当者：関口守俊〉
TEL. 03-3812-5821 FAX. 03-3811-0617

法藏館

600-8153 京都市下京区正面烏丸東入 〈担当者：西村明高〉
TEL. 075-343-5656 FAX. 075-371-0458

ミネルヴァ書房

[本社] 607-8494 京都市山科区日ノ岡堤谷町1
TEL. 075-581-0296 FAX. 075-581-0589
[東京支社] 101-0062 千代田区神田駿河台 3-6-1 菱和ビルディング 2F
TEL.03-3525-8460 FAX.03-3525-8461 〈担当者：青柳英孝〉

山川出版社

101-0047 千代田区内神田 1-13-13 〈担当者：田村 裕〉
TEL. 03-3293-8132 FAX. 03-3292-2994

吉川弘文館

113-0033 文京区本郷 7-2-8 〈担当者：春山晃宏〉
TEL. 03-3813-9151 FAX. 03-3812-3544

2019年7月1日発行・第244号

取扱店

発行 **歴史書懇話会**

113-0033 文京区本郷7-2-8 吉川弘文館内
(非売品)